

「早稲田 狂言の夕べ」は、文化勲章受章者であり、人間国宝、文化功労者でもある本学校友・野村万作氏、そしてその子息で推薦校友の野村萬斎氏をはじめとする、豪華出演者による狂言公演です。2010年より、本学の学生・教職員・招待校友を対象に開催して以来、毎年大きな反響をいただいてまいりました。今回は第17回公演。早稲田大学でしか味わえない、ひと味違う舞台を、重要文化財・大隈記念講堂にてお楽しみください。

あらすじとみどころ

小舞 景清 後

「狂言小舞」とは、狂言の中で謡とともに舞われる短い舞のことです。狂言師は謡によって声の技術を鍛え、舞によって体の所作の基礎を作ります。「景清 後」は同名能の後場で、シテ(主役)である平家の武将・景清が語る、屋島の合戦の際に、源氏方の三保谷四郎と力比べの鏝引きをした武勇談を、狂言小舞にしたもので、激しい闘いの様子を様式的に表現します。

狂言 木六駄(きろくだ)

主人は、山ひとつ向うの都に住む伯父へのお歳暮として、炭を六駄と木を六駄、それに上等の樽酒を届けるよう太郎冠者に命ずる。雪の降る山中、荷を積んだ十二頭の牛を追ひ、ようやく峠の茶屋にたどり着いた太郎冠者は酒を所望するが、あいにく茶屋が切らしていたので、届けるはずの樽酒に手をつけ、茶屋と酌み交わすうちに全部飲み干してしまう。更に酔った勢いで木六駄まで茶屋にやってしまい、太郎冠者は残りの炭六駄をのせた牛を引いて伯父のもとへ行くのだが…。

降りしきる雪の中、蓑笠をつけ、一本の追竹だけで十二頭の牛を追う太郎冠者の演技が見どころです。また、酒宴の際に酔態で舞う「鶉舞」など、狂言として重厚な構成の中に庶民の生活感情が豊かに描かれた秀作です。



野村 万作

のむら まんさく

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。2023年文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学第一文学部卒業。「万作の会」主宰。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、ニューヨーク・ジャパソサエティ賞、NHK放送文化賞等受賞歴多数。02年、早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。練馬名誉区民。新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも尽力。練馬文化センター名誉館長。



石田 幸雄

いしだ ゆきお

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ「万作の会」の重鎮。大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』をすでに披露。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献。06年「雙ノ会」で芸術祭大賞、11年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。古典はもとより『敦—山月記・名人伝—』『国盗人』(野村萬斎演出)など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。23年より「狂言師『石田幸雄』のソロ活動」でひとり舞台にも取り組む。



野村 萬斎

のむら まんさい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。早稲田大学推薦校友。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞等受賞多数。16年度校友会稲魂賞特別賞、24年坪内逍遙大賞受賞。石川県立音楽堂邦楽監督、(公社)全国公立文化施設協会会長。



野村 裕基

のむら ゆうき

1999年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。「狂言アイデアの会」主宰。3歳の時に『靉猿』で初舞台後、国内外で多数の舞台に出演。『三番叟』、『奈須与市語』、『釣狐』を抜き、「万作の会」の若手狂言師の一人として狂言・能の舞台を勤めている。23年3月、舞台『ハムレット』(野村萬斎演出)でタイトルロールのハムレット役を務めた。朝日カルチャーセンター狂言クラス、早稲田大学・東京大学・成城大学の狂言サークルを指導。能楽協会会員。

申込方法

MyWaseda(お知らせ)を参照のうえ、申請フォームよりお申込みください。

【対象】
学生・教職員
(関係職員含む)

3月16日(月)10:00～4月6日(月)10:00

※抽選結果通知(Wasedaメール)は4月7日(火)予定

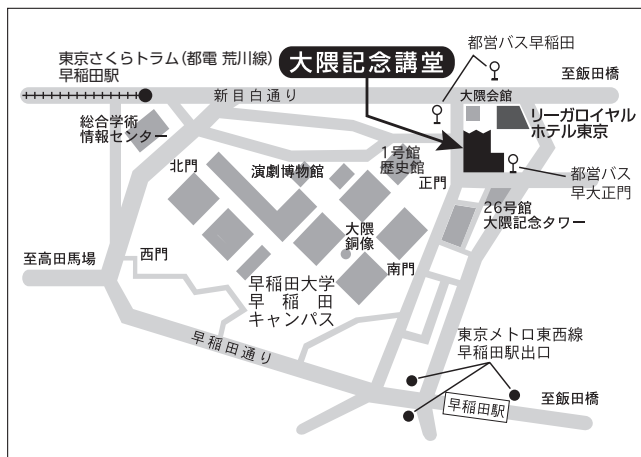
- ・観覧は、主に2階席です。応募者多数の場合は抽選となります。
- ・校友(卒業生)の方は申込方法が異なります。『早稲田学報』2026年4月号「WASEDA TOPICS」をご覧ください。
- ・未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ

メール: kyogen-toiawase@list.waseda.jp
文化推進部文化企画課 TEL: 03-5272-4783 (月～金 9:00～17:00)
総長室校友課 TEL: 03-3202-8040 (月～金 9:00～17:00)
<https://www.waseda.jp/culture/>

スタッフ

舞台監督/小坂部 恵次 制作協力/万作の会
照明/株式会社斉藤舞台照明 斉藤 正雄 制作/早稲田大学文化推進部
舞台/金井大道具株式会社 古賀 学 文化企画課



交通アクセス

JR山手線/西武新宿線(高田馬場駅 徒歩20分)
東京メトロ 東西線(早稲田駅 徒歩5分)
都営バス(高田馬場駅一早大正門 徒歩1分)
都営バス(新宿駅西口一早稲田)(渋谷駅一早大正門)(上野広小路一早稲田) 徒歩3分
東京さくらトラム(都電 荒川線) 早稲田駅 徒歩5分
※学内に駐車場はございません。